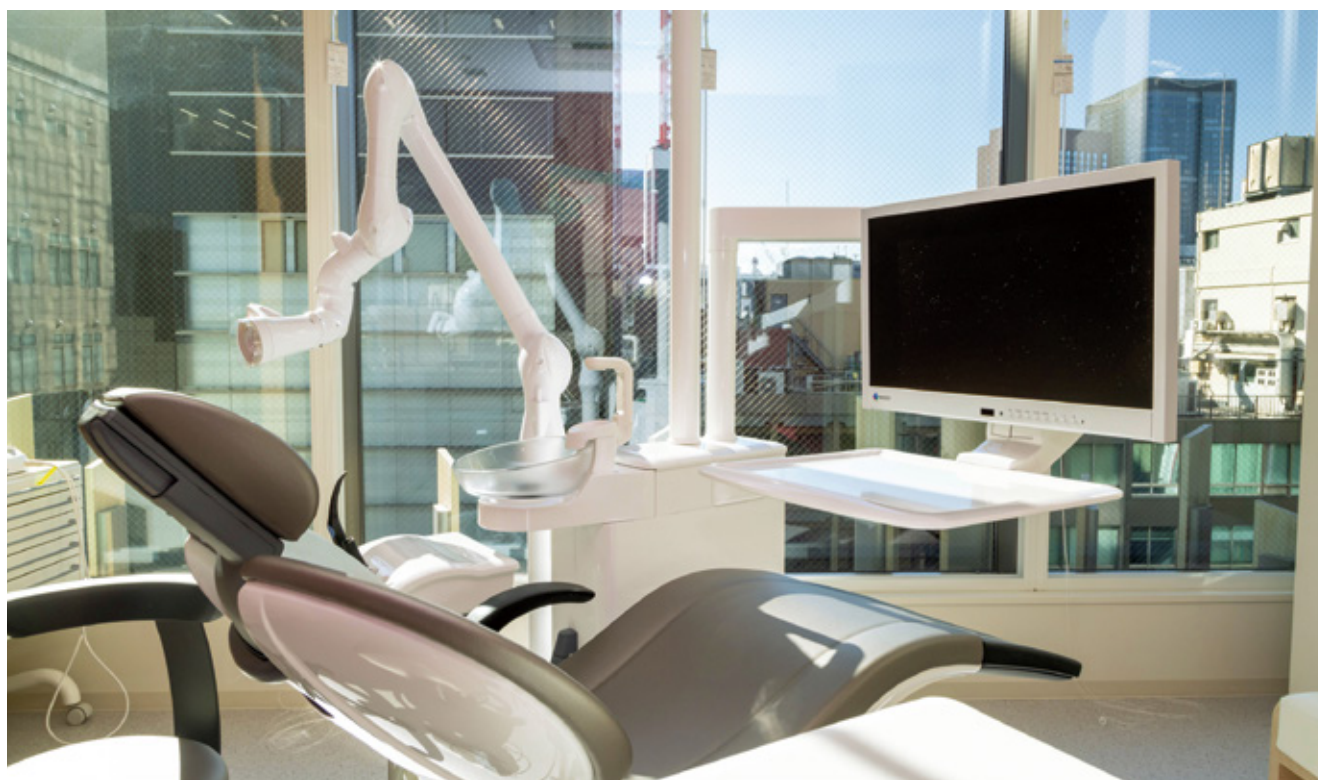


Campus Today



銀座8丁目クリニックが開院



最新設備を備え洗練された空間で歯科専門治療を提供する銀座8丁目クリニック

歯科大学病院の「専門技術」を東京・銀座で提供 都市型診療モデルを学べる教育研修施設としても活用

松本歯科大学銀座8丁目クリニック（院長 矢島安朝特任教授）が7月6日（木）、東京・銀座の高層商業施設「HULIC&New GINZA」内に開院した。高級感あふれる個室の診療室で、大学病院の持つ高い技術力に裏付けられた最先端の歯科医療を提供する新しいタイプの歯科クリニック。都市型診療モデルを学べる大学の教育研修施設として、本学を卒業した研修歯科医の臨床研修などでも活用を図っていく。

開院初日の診療時間前、現地に矢ヶ崎 雅理事長ら関係者約20人が集まり、開院セレモニーを行った。矢ヶ崎理事長と香西 敏男参事、矢島院長の3人がテープカットを行い、参列した人々と新たな事業拠点の門出を喜び合った。その後、関係者全員で永田町の日枝神社に詣で、クリニックの発展を祈願した。

セレモニーで矢ヶ崎理事長は、「ここは生まれたばかりのクリニックだが、やがて大きな巨人となって大学にさまざまな貢献をしてくれることを夢見ている。みんなで力を合わせて、きちんと確実な診療をしてほしい」とあいさつした。セレモニー後の施設見学では、内閣官房参事 本学常務理事でもある飯島 勲特命教授も駆け付け、本学の取り組みに高い関心を寄せていた。

松本歯科大学病院は、安全性の高いインプラント治療と各専門分野での技術向上に長年取り組んできた。その実績を生かし、新たに誕生したクリニックでは最新鋭の設備を備え、最先端の歯科専門治療を提供する。敷居

の高さを感じさせることなく、歯科大学病院だからこそ「技術」と「設備」を気軽に利用できるクリニックを基本理念とし、大学の教育研修施設としての役割も担っている。

クリニックが入るビルは、建築家・隈研吾さん率いる隈研吾建築都市設計事務所がデザイン監修し、2021年秋に完成した日本初の耐火木造のハイブリッド高層商業施設（地上12階）。クリニックはその9階で、広さ約170平方メートル。全4台のチェアをそれぞれ個室型の診療室に据え、オペ室やレントゲン室、技工室も配置した。やさしい雰囲気、受付や待合をはじめ、洗練された空間でリラックスして歯科治療が受けられる施設になっている。

歯科用ユニットは、高さの調整がフレキシブルで子どもや高齢者でも楽に乗り降りできるユニバーサルモデルのシロナ（Siuna）と、インプラント治療用の電動モーターおよび根管長測定機能が付いたシロナ Axano の2種を備えている。



飯島特命教授に院内の説明をする矢島院長（右）

吸引した空気を室外へと排出し、院内の空気浄化と感染対策に有効な口腔外バキュームや、解像度、コントラスト、色再現性を徹底追求した外科用顕微鏡、迅速かつ容易に口腔内をスキャンングしチェアタイムの短縮につながる光学印象スキャニング等も最先端を揃えた。

レントゲン室に導入したデンツプライシロナX線撮影装置はパノラマ／セファロ／CT複合機で、メーカーのフラッグシップモデル。塩化エチレンガス滅菌器やハンドピース専用滅菌器、歯科用器具を確実に洗浄・消毒する高性能洗浄器なども最新鋭を揃えている。



銀座通りに面したビルの9階がクリニック



日枝神社でクリニックの繁栄を祈願した大学関係者

拉致問題に動きあり。解決の鍵は正面突破にある。

内閣官房参与
松本歯科大学常務理事
特命教授
飯島 勲

今月号は『プレジデント』8月4日号「リーダーの掟 飯島勲」より、拉致問題解決に向けて北朝鮮への交渉スタンスについての記事を要約して紹介します。

岸田文雄首相が拉致問題解決に向けて強い意欲を見せている。まず、5月27日の全拉致被害者の即時一括帰国を求める国民大集会に出席した際に、「私自身、条件を付けずにいつでも金正恩委員長と直接向き合う決意である」「首脳会談を早期に実現すべく、私直轄のハイレベルで協議を行っていきたい」と述べた。その後、国会でも同様の発言を繰り返して、本気のようだ。

中でも、「首相直轄のハイレベル協議」と言い切ったことには非常に驚いた。そこまで踏み込んだことはすこいと思う。

中でも、「首相直轄のハイレベル協議」と言い切ったことには非常に驚いた。そこまで踏み込んだことはすこいと思う。

榑川で「おはなしカフェ」 地域連携歯科学講座 齧島弘之教授 お口の健康法を講義



歯の健康を保つコツなどを説明する齧島教授

松本歯科大学のスタッフが地域の人たちに健康情報を届け、健康づくりを応援する企画「おはなしカフェ」が6月21日(水)、塩尻市木曽平沢の榑川診療所で開かれた。本学の地域連携歯科学講座の齧島弘之教授が講師となり、「食べる機能の老化予防」をテーマに講演。診療所のある榑川地区の60〜80代の女性を中

心に約20人が参加し、熱心に耳を傾けた。

担当大使の宋・日昊氏と会談する機会を持つことができた。私は、拉致問題の解決に向けて、いうべきことはすべて話したし、日朝双方がやるべきこともきちんと伝えた。彼らは、私の話をしっかりと受け止めて「日朝交渉を始めたい」と答えてくれた。まず、専門家協議を実施したうえで、首脳会談をやってもいいと明言したのである。首相の特使でもなく、内閣官房参与として訪問した私に、平壤にある百花園迎賓館の一室を用意してくれたことから、日本との関係改善に対する北朝鮮の本気度を感じた。百花園迎賓館は、各国の要人が北朝鮮を訪問したときに会談や宿泊に使われる、日本でいえば赤坂の迎賓館のような施設である。小泉首相と故・金正日国防委員長は首脳会談もここで行われた。

拉致被害者の即時一括帰国を求める国民大集会



拉致問題解決への強い思いを語る岸田首相

かし、世界に目を向けてみると、国連加盟193カ国の中で、北朝鮮と国交がないのは、日本を含め19カ国と少数派なのである。また、北朝鮮には手つかずの地下資源が眠っていることも無視できない。未開発のレアメタルなどは、推定約1000兆円の価値があるといわれている。さらに、北朝鮮は、日本から見ればユーラシア大陸の入り口にあたり、地政学的にも重要である。

く拉致問題を解決して、国交交渉を開始すべきである。外交を得意とする岸田首相が次の目標を北朝鮮とするのも理解できる。日本の外交の窓口は一般的には外務省である。しかし、北朝鮮とは正式な交渉はない。小泉首相の訪朝の際も、外務省は当初「国交のない国とは接触ができない」というスタンスだった。しかし、現地に同行して、そのまま北朝鮮との調整窓口を受け持つようになったが、今日まで進展させることはできていない。外務省が参入してくる以前は、人道支援の目的で日本赤十字社が北朝鮮との対話を担っていた。岸田首相が「直轄」というのであれば、外務省だけに頼らず、日赤の経験も生かすことはできないだろうか。

一方、日本国内における北朝鮮側の外交窓口としては朝鮮総連があるが、安倍内閣以降は平壤と直接連絡を取るようになっていた。しかし、在日朝鮮人のみなさんと北朝鮮のつながりも大事にすべきだと考える。拉致問題は許されるべきではないが、在日朝鮮人の人々に対しては融和の精神を持って接するべきだ。そうした身近な関係改善が、拉致問題解決への突破口になるかもしれない。

日本との交渉を担当する宋日昊氏は、長野県とも縁がある。1998年の長野冬季オリンピックの開催地を決定するときの投票はかなりの接戦で、「アジアでの開催を応援する」と北朝鮮が日本に投じた1票が大きく影響したことが知られている。長野の関係者は、北朝鮮側に感謝の意を伝えた。これに込めて長野にやってきたのが、当時から北朝鮮外交で日本関係を担当していた宋氏である。その後も、宋氏と長野の交流は続き、松本歯科大学を訪れたこともある。そういった点からも、きつと理解しあえるという期待がある。

岸田首相も日本の方針を素直に出し真正面からぶつかれば、活路が開けるはずである。

機能低下の予防になる」などと、要点をまとめながら話した。

また、口腔内の汚れや口腔内の健康状態の低下が、一般的に、高齢者になるにつれて発症しやすくなる誤嚥性肺炎にも大きく関係することも解説。要介護度

が高くなるほど歯科を受診することも、自分で口腔内を清掃することも難しくなることから、そのような場合には訪問歯科診療も選択肢になり得るとして、仕組みなども紹介した。

講演の終盤では、嚥下障害予防となるいくつかのトレーニングを実践的に指導する場面もあり、参加者たちから笑い声が上がっていた。齧島教授は「笑うこともとてもいいトレーニングになる」と声をかけ、会場は和やかな雰囲気になった。

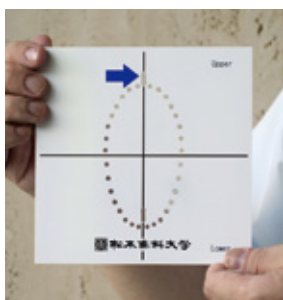
で、上下左右の位置を見失うことなく、初心者でも比較的簡単に複数歯露出でのラバーダム装着が可能となる。本学では2023年度の第4学年保存修復学実習から、学生たちはこれを用いてラバーダム装着を行っている。

なお一般への流通は行っていないが、校友の先生方に広くご使用いただけるよう、モリタ松本歯科大学デンタルショップ(☎0263・52・4616)で取り扱いを開始した。定価は2900円(税別)。

歯科保存学講座 亀山敦史教授が設計 松本歯科大オリジナル仕様 ラバーダムテンプレート完成

最近では歯内治療のみならず、コンポジットレジン修復をはじめとした歯質接着性材料を生かした修復技法などでも、ラバーダムの必要性が見直されている。本学でも病院内での臨床はもちろん、第4学年の保存修復学実習や歯内治療学実習においてもラバーダム装着下での模型実習を実施している。

特に保存修復治療ではコンタクトポイントの回復が必要となる症例が多いため、複数歯露出でのラバーダム装着が必要となる。その際に、正確な位置にパUNCHングしないとフレームの正確な位置づけができないだけでなく、歯間部には隙間やシワが生じてしまう。正確な位置にパUNCHングを行うには、いわゆる



完成したテンプレート

最大の特徴は、上下正中の位置にあるスリット(矢印部)。このスリットを用いて正中の位置をマーキングしておくこと

で、上下左右の位置を見失うことなく、初心者でも比較的簡単に複数歯露出でのラバーダム装着が可能となる。本学では2023年度の第4学年保存修復学実習から、学生たちはこれを用いてラバーダム装着を行っている。

なお一般への流通は行っていないが、校友の先生方に広くご使用いただけるよう、モリタ松本歯科大学デンタルショップ(☎0263・52・4616)で取り扱いを開始した。定価は2900円(税別)。

創立者の「視点」



大学誌編集主幹
特任教授
笠原 浩

1960年代の歯科医療には「地域医療の有機的なネットワーク」という概念が、まだ十分には育ってはいなかった。

対症療法が精一杯であった。当時は「一分一秒でも延命するのが医者務めだ」と教えられていたから、食事が摂れなくなれば経管栄養、いよいよターミナル・ステージとなって呼吸が止まれば人工呼吸、心拍が停止すれば心臓マッサージ、最後は左心室へのアドレナリン注射と、懸命に取り組んだが、自分の無力と空しさを感じる瞬間でもあった。

地域の第一線で一次医療にあたる診療所と、より高度な設備やマンパワーを備え、二次・三次の医療を担当する病院とでは、明らかに役割が違わなければならないはずなのに、そこに気付いていた歯科医師はほとんどいなかった。歯科領域での二次医療というと、口腔外科しか思い浮かべられない時代だったからなのだろう。

小児の重症齲蝕、障害者、高齢者、有病者など、一次医療では十分な対応が困難な「スペシャルニーズ・ペイシエント」の存在が社会的問題として登場するのは、まだかなり先のことだ。

しかしながら、そうした「新しい風」を感じた病院歯科の担当医も現れるようになり、首都圏での病院歯科医長会が組織された。筆者もメンバーとなり、月1回の例会では「ホスピタル・デンティストリーとは何ぞや」などと、熱烈な討論を繰り返していた。筆者が左翼系の病院のスタッフが、多く、患者は「ペイシエント」であることを承知しているはずの防衛医大の医長から「ずっと待遇がいいから」と引き抜きの声を掛けられたのも、思い出しのひとつだ。

口腔外科に特化していたから口腔がんの患者さんも少なからず入院させた。残念ながら大部分の方が手術の対象にもならない進行がんで、苦痛を和らげる

若い人の瀕死の重傷などのように、延命に成功すれば、その先に素晴らしい人生が待っている可能性があるような場合には、いかに苦痛に満ちた治療処置であろうとも、実施されるべきであろう。

しかし、末期がん患者などへの病院での延命処置は無益であるばかりか、患者の苦痛を増し、ご家族とのお別れをも妨げていると思えない。

60年前の歯科医療(7)

当時の医療の主役は医者であった。「患者は余計なことは知らなくてよい。ワシに任せておけ」といった「家父長」的な者が多く、患者は「ペイシエント」に耐え忍ぶ人」だったのだ。

昭和天皇への末期治療の実態が明らかにされたのをきっかけに、「無益な延命治療」への批判が高まり、「ドクター・オリエンテッド」から「ペイシエント・オリエンテッド」へと、わが国の医療が転換する動きが出てくるには、まだ時間が必要であった。

病院だより vol.51

健診センターの
診療内容リニューアル

健診センターの診療業務は、大きく①健診業務と②人間ドックの二つあります。

①健診業務は学校、企業、自治体などの構成員を対象とした健康診断で、検査項目は協会けんぽや医師会で決められた内容に従って、施行しています。

②人間ドックは受診者の希望に応じて検査項目を設定することができます。

したがって、健診センターの診療業務の改善・リニューアルの着手に際し、診療内容の自由度の大きい人間ドックを主な対象とするのが妥当と考えます。

松本歯科大学病院健診センターは、2023年4月よりの診療内容のリニューアルを施行しています。主に人間ドックを対象として、内容を魅力的かつ特色あるものとし、受診者にアピールするようにしました。

概要を紹介いたします。

リニューアルの骨子は、人間ドックの3本の柱として

(1) 歯科検診

(2) 腫瘍検診

(3) 運動指導

を設定し、他施設の人間ドックとの差別化を図るようにしたことで正しい運動を提案し、健康維持につながるようにはしました。

また、これら3本の柱を人間ドックで効果的に実践するため、半日ドック、一日ドック、一泊ドックの3つのコースを設定しました。歯科検診は3種類のドック全てで実践可能、腫瘍検診は半日ドックをグレードアップした一日ドックと一泊ドックで実践可能とし、運動指導は

持につなげるようにはしました。

一泊ドックで実践可能とし、最も受診者の希望に沿って、最適なコースを選ぶことができるようになっています。

さらに、脳の検査に特化したコースとして、脳ドックも設定しましたが、このコースは脳血管疾患や認知症など脳の病気が気になる方におすすめです。

個々の検査項目についても見直し、臓器別、疾患別に選別できるようにしました。また特定の疾患が心配な方には、対応する検査をオプションとして選ぶこともできるようにしました。

例えば心臓や動脈硬化が心配な受診者には頸動脈超音波検査でプラークの発見を、女性特有の病気が心配な受診者には子宮頸がん検診で子宮頸がん、マンモグラフィ検査と乳房超音波検査で乳がんの早期発見を目指すようにしました。



臓器超音波検査

さらに、脳ドックも設定しましたが、このコースは脳血管疾患や認知症など脳の病気が気になる方におすすめです。

個々の検査項目についても見直し、臓器別、疾患別に選別できるようにしました。また特定の疾患が心配な方には、対応する検査をオプションとして選ぶこともできるようにしました。

例えば心臓や動脈硬化が心配な受診者には頸動脈超音波検査でプラークの発見を、女性特有の病気が心配な受診者には子宮頸がん検診で子宮頸がん、マンモグラフィ検査と乳房超音波検査で乳がんの早期発見を目指すようにしました。

さらに、脳ドックも設定しましたが、このコースは脳血管疾患や認知症など脳の病気が気になる方におすすめです。

上海開放大学附属高級中学朝陽義塾分校の生徒ら
研修旅行の一環で本学を見学し学びを体験

上海開放大学附属高級中学朝陽義塾分校の学生と本学関係者

中国・上海開放大学附属高級中学朝陽義塾分校で学ぶ生徒・学生の有志一行が7月24日(月)、本学を訪れた。第6学年の前田風華さんらの案内で大学や病院の施設を見学したり、中村浩彰教授による模擬実習を受けたりして、日本の大学の雰囲気や歯科大生の学びを体験した。

訪れたのは日本の中学生から大学院生に相当する11歳から22歳までの生徒・学生26人と、引率教員ら5人。一行は、日本の大学や文化に触れることを目的とする研修で7月20日(木)から28日(金)まで日本を訪れている。本学と同校は以前から友好関係にあり、今年6月に矢ヶ崎怜央法人主事が同校を訪れ、あらためて学生たちを歓迎する旨を伝えたこともあり、本学も今回の訪問先の一つとなった。

一行は、正面玄関前やホールにある創立者・矢ヶ崎康先生の胸像前で記念撮影をしたあと、歓迎セレモニーに出席した。矢ヶ崎法人主事は、早々の訪問実現を喜び、創立者の建学の理念を紹介しながら「本学で学んでいたければ立派な歯科医師になるだけでなく人としても成



中村教授(右)が指導した模擬実習

長していただけたと思います」と述べた。同校の引率者を代表して李海濤(かいとう)先生と記念品を交換し、互いに友好関係を維持、発展させていくことを確認した。

一行は、前田さんによる大学紹介を聞いた後、前田さんらの案内で大学病院や図書館を見学。図書館内の中国料理店「Stardust」での昼食時には、

第1学年オープンセミナーに新科目
『フランス語入門』でボシジョー

第1学年の学生が興味に沿って複数の科目から選んで学ぶ授業「オープンセミナー」の選択肢に本年度、初めてフランス語講座「フランス語入門」が加わり、学生たちが文化にも親しみながら初歩の表現を学んでいる。

授業を担当するのは、「言語表現(英語)Ⅰ、Ⅱ」の担当者

の一人でもある野村貴之特任教授。授業は、フランス語でい



フランス語を教える野村特任教授

を上げて展開されている。学生たちは「教養としてフランス語に触れたい」「フランス語圏のことに興味がある」などさまざまな動機で受講し、熱心に学んでいる。受講した学生の一人は「小学生からフランス語を学んでいる。フランス語を学ぶ際に困らない程度にまで、いつか話せるようになりたい」と話していた。

「フランス語入門」は、異文化を学びながら初歩のフランス語表現を経験したり、学習を通してコミュニケーション能力を養成したりする内容で、歯科医

人気TV番組「ナニコレ珍百景」
中国料理「Stardust」の
ランチバイキングを紹介

本学の「Stardust」は、中国で修業した料理人による本格中国料理がバイキング形式で食べられる、全国でも珍しい学食として紹介された。取材班が事前に本学を訪れた日は、酢豚、エビチリソース、麻婆豆腐、チャーハン、スープ、デザートなど15種類が提供されていて、番組内では、学生たちが「どれもおいしい」「大満足」などと話しながら食事を楽しむ様子が流れた。

宇田川信之歯学部部長がインタビューで、「率直にいうと赤字」と言いつつ、学生の健康や食の充実のために大学が料金を補助して提供していることを話す。中島健人さんは「学生に対する愛情が素晴らしい」と絶賛した。バイキングだけでなく個室でコース料理も食べられることや、学食と同様に地域の人にも開放していることなども説明された。



バイキングメニュー(上)と取材に答える学生

外科的矯正治療を再考

第38回甲北信越矯正歯科学会学術大会

6月25日(日)に松本歯科大学図書会館にて第38回甲北信越矯正歯科学会学術大会が開催された。本学会は甲北信越地区の歯科矯正臨床医が集い、臨床報告や研究成果の意見交換することを目的とする矯正歯科学会学術大会であり、COVID-19が5月8日から5類へ移行されたことに伴い現地開催とし、県内外から多くの参加者が集った。

今回の大会テーマは「外科的矯正治療を再考する」とした。顎変形症治療は高度に選択的な治療であり、治療を行う上で患者さんの価値観も重要となり、近年では主訴も多様化している。より主訴に寄り添った治療



特別講演で講演した本学の栗原教授と筆者(右)

変形症治療を甲北信越矯正歯科学会で改めて「再考」したいという想いがあった。

特別講演では、本学口腔顎顔面外科科学講座 栗原 祐史教授に「顎矯正手術における3Dシミュレーションとナビゲーションの応用」と題し、近年の術野における三次元空間認識技術の進歩によるシミュレーションやナビゲーションの現状、問題点や今後の展望を含む非常に興味深い講演をいただいた。

シンポジウムでは「外科的矯正治療の臨床と研究」をテーマとして、当講座からは深沢 香菜子助教が外科的矯正治療における当科の検査、症例分析、治療方針、口腔外科との連携や顎変形症治療に関連する研究等、今後矯正臨床に求められる知見について発表し、意見交換や情報共有が行われた。日本矯正歯

科学会よりお知らせとして、認定医委員会の倉林仁美先生から「認定医の取得、更新を目指す方、また、その指導者へー認定医新規・更新申請、指導医新規・更新申請制度の理解のため」と題してお話を頂いた。また、多

数の一般口演、症例展示、そして商社展示が行われた。一般口演や症例報告における質疑応答では会員による活発な討議が行われ、有意義な学術大会となった。

全日本歯科学学生総合体育大会
4年ぶりに開催
熱戦に期待！

剣道部第2学年の3人が 塩尻市民スポーツ祭夏季大会に出場

7月9日(日)塩尻市立体育館にて第64回塩尻市民スポーツ祭夏季大会(剣道部門)が開催され、本学剣道部第2学年の高橋佑弥君、橋本ひかるさん、松村大生君の3人が一般男子の部と一般女子の部に出場した。残念ながら他の部員は、定期試験や中間試験と重なり出場が叶わなかった。



健闘した剣道部の3人

何 治鋒助教が優秀発表賞 加藤那奈さんが特別賞 第95回松本歯科大学学会

17時30分よりポスター発表が行われ、講座、研究所ならびに病院より8演題が発表され、自由討論が開催されました。

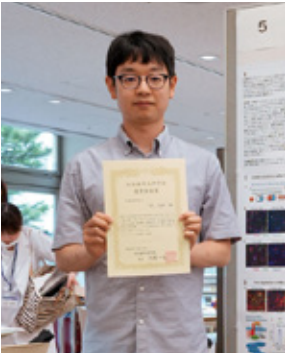
第95回大会の最優秀発表は『F480(+) : CstI(-)マクロファージはLepr(+)細胞を活性化し、骨再生を促進する』を発表した総合歯科医学研究所・何治鋒助教が受賞しました。また、特別賞は『下顎乳臼歯部に切歯様過剰歯がみられた1例』を発表した小児歯科の歯科衛生士である加藤那奈さんが受賞されました。

第95回松本歯科大学学会総会が7月6日(木)に開催されました。大会に先立ち601教室にて松本歯科大学学会評議員会ならびに総会が行われ、庶務、集計、編集、会計の幹事長から報告があり、2022年度決算に続き、事業報告、年度予算、役員改選について審議がなされ、承認されました。また、第97回学会(総会)は2024年7月4日(木)、第98回学会(例会)は11月28日(木)に開催されることが決定しました。

何先生は、マクロファージ(MΦ)は様々なサイトカインを分泌し、損傷組織を除去して組織再生を促進することから骨折後の骨再生に重要な役割を果たすことが報告されているが、そのメカニズムは明らかではない。そこでMΦが骨再生を促進するメカニズムを検証している。実験ではマウス脛骨の皮質



特別賞を受賞した加藤さん



最優秀賞を受賞した何助教

骨に21G針で穿刺し、これらのマウスにクロドロネートリポンム(Col)あるいはCstI受容体中和抗体(抗CstI Abs)を投与し、MΦを枯渇させた。その後マイクロCT分析と組織学的観察を行い、骨再生過程に出現するMΦと間葉細胞の動態を観察している。実験結果から骨再生過程において、F480(+) : CstI(-) MΦ、Lepr

(+)細胞のWnt産生を促進し、そのシグナルを活性化することで、Lepr(+)細胞の骨芽細胞への分化を促進すること。また、F480(+) : CstI(-) MΦは、間葉細胞を活性化し骨や歯槽骨の再生を促進することを報告されました。

今回の第96回学会(例会)は、2023年11月30日(木)にポスター発表による自由討論で開催しますので、皆さんの参加をお待ちしています。

(集計幹事長 大須賀直人)



写真部ギャラリー ～今月の一枚～

『美ヶ原』 撮影：佐々木はりな (第3学年)

友人と6月に行きました。天候に恵まれ、初夏の高原の風を感じながらのんびりと散策することができました。標高2000メートルを超える広い高原台地から見上げると、空がとても近く感じられました。

歯科学学生体育大会剣道部門が開催されるが、本学学生にとってもその大会に向けての前哨戦にもあたる。また、地元市民の方々の剣道を通じた交流の場でも貴重な経験となったといえる。

歯学体での健闘も期待したい。

(剣道部 顧問 金鐘英二)



第55回歯学体のポスター

全国に29ある歯科大学や歯学部の学生が日頃の練習の成果を発揮し、競技を通じて交流を深める大会で、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、今回は4年ぶりの開催となる。

夏期部門では今回、19の競技が行われる予定で、本学からは準硬式野球、剣道、ゴルフ、弓道、水泳など、11の競技に出場する。出場する全ての学生が実力を余すことなく発揮し、好成績を収めることに期待が高まる。

第55回全日本歯科学学生総合体育大会夏期部門日程 (本学が出場する部門のみ掲載)

部 門 名	月 日											会 場 名
	7/31	8/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
準硬式野球 (前日大学歯学部)												KYB 3677L / 池田公園野球場 / 長良川球場 / 多治見市宮球場 / 春日井市民球場
硬式庭球 (昭和大学歯学部)												白子町営テニスコート
サッカー (九州大学歯科大学)												福岡フットボールセンター
ゴルフ (鶴見大学歯科大学)												久瀬カントリークラブ
バドミントン (昭和大学歯学部)												メディアス体育館おおふ
バレーボール (昭和大学歯学部)												影の国くまがやドーム
バスケットボール (昭和大学歯学部)												水海道総合体育館 / 石下総合体育館 / 坂東市総合体育館 / 坂東市猿島体育館
剣道 (九州歯科大学)												松戸運動公園体育館
弓道 (明治大学歯学部)												小瀬スポーツ公園
日本拳法 (大阪歯科大学)												大阪歯科大学牧野キャンパス体育館
水泳 (広島大学歯学部)												ひろしんビッグウェーブ

(開会式：7月31日(月)) ●：試合日、▲：練習日、予備日等

8月行事予定

6日(日) 一日体験入学 (歯学部)

17日(木) 後期授業開始 (第4学年)

20日(日) 一日体験入学 (歯学部)

28日(月)～9月8日(金) 定期試験 第1～3学年

人事異動

〔採用〕 松尾 綾美 事務庶務課事務員(派遣職員)

〔採用〕 倉石 能見 臨床検査室検査士(契約職員)

5月15日付 7月1日付

Matsumoto Dental University SNS Information



LINE



twitter



Instagram



facebook